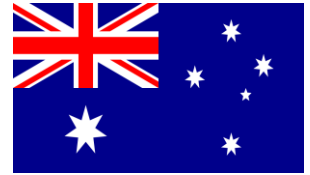


The Japanese School in Perth  
パース日本人学校

# Southern Cross



2024 No.2

5月1日発行

Web-site [www.japaneseschool.wa.edu.au](http://www.japaneseschool.wa.edu.au)

e-mail: [toiwase@jsp.wa.edu.au](mailto:toiwase@jsp.wa.edu.au)

「互いに切磋琢磨する学校」～ 原石が輝きを放つために ～ 校長 寺本 喜和  
朝夕の日差しが、季節の移ろいを感じさせてくれます。パースは今、秋から冬へと確実に歩みを進めています。さて、4月15日本校は第47回目の入学式をむかえました。その式の中で私は次のような話をいたしました。

皆さんはダイヤモンドという宝石を知っていますね。ダイヤモンドは宝石の王様と呼ばれるくらい、美しい輝きを放ち、人々を魅了しています。しかし、このダイヤモンドは原石のままではそれほど透明感はなく、光輝くことはありません。それではどうやってこのダイヤモンドに輝きを与えたいと思いますか。

答えはこのダイヤモンドの原石を磨（みが）いて光を放たせるのです。しかし、このダイヤモンドは大変固く、この地球上にダイヤモンドより硬い鉱物は存在しないと言われていています。つまり、他の鉱物を使ってダイヤモンドを磨こうとしても、ダイヤモンドの硬さに負けてしまい、磨いたり、削ったりすることはできないのです。それではどうすればよいか、皆さんならもう分かりますね。ダイヤモンドを磨いたり、削ったりするには同じダイヤモンドを使うのです。つまり、ダイヤモンド同士で磨き合い、削り合うわけです。これと同じことは、私たち人間にもあてはまると思います。ここにいる新入生の皆さんは、それぞれ姿や性格は違っていますが、内に秘めた輝きを持ったダイヤモンドの原石です。ダイヤモンド同士で互いに削り合い、磨き合うことによって、美しい輝きを放つようになるのと同様に、皆さんも、仲間との関わりの中で、互いの個性や違いを認め合い、切磋琢磨し、時にはぶつかり合ったり、けんかをしたりすることで、お互いが磨かれ、それぞれの個性や人間性といった輝かしい光を放つ立派な大人になっていくということです。これからの学校生活を通して、勉学に励み、スポーツに親しみ多くの友達を得て自分の目標を見失うことなく切磋琢磨することで、さらに大きく成長していくことを期待しています。

教室の授業の様子を見て回ると、児童生徒同士が互いの意見を出し合って、様々な視点から、論議する姿が多く見られます。物事を多角的に、いろいろな観点から考えられることは、これからの変化の多い社会を生き抜く上で、大切な力となるでしょう。少人数のJSPではありますが、少人数だからこそ、児童生徒相互のかかわりを大切にして、授業を進めるようにしています。一人一人の違いを認めながら、自分の考えを深めていくことが一人一人の「輝き」につながる、「切磋琢磨」という作業であると考えます。